

【北海道庁から】北海道地域おこし協力隊メールマガジン

北海道 総合政策部 地域創生局 地域政策課

■■■■■■■■■■ 北海道の地域おこし協力隊の方々にお届けする
■■■■■■■■■■ メールマガジン♪
■■■■■■■■■■ 研修会やイベントの開催情報や
■■■■■■■■■■ 全道各地で活躍する地域おこし協力隊の活動状況、
■■■■■■■■■■ 定住・起業の支援情報などを発信します。

■目次

- 【1】西塔さん連載企画！～第4回「1年目は焦らないこと」文 西塔大海さん（さとのば大学講師）
- 【2】イベントのお知らせ！きた北海道協力隊ネットワーク～「地域おこし協力隊向けオンラインサロンを開催します！」
- 【3】協力隊の活動紹介！～どこよりも、ゆるく、親しみやすい内容に仕上がっています！別海町地域おこし協力隊 YouTube チャンネル「べつかい移住ちゃんねる」
- 【4】協力隊の活動紹介②！「令和3年度『受け継ぎたい北海道の食』動画コンテスト」の表彰式が開催されました！
- 【5】起業を考えている方必見！日本政策金融公庫～「移住創業者向け融資制度の改正について」

- 【1】西塔さん連載企画！～第4回「1年目は焦らないこと」文 西塔大海さん（さとのば大学講師）
今回は、協力隊1年目の方へのメッセージです。

今日はこの文章を札幌で書いています。北海道の春は格別ですね！

この春から協力隊になった方や、新たな協力隊を迎えた役場の職員さんもいらっしゃることでしよう。今回は協力隊1年目の心構えをご紹介します。

1年目の協力隊と面談をすると「3年しかないから急いで〇〇したい～」「早く成果を出して認められたい！」と話される方が多いです。私自身もそうでした。

でも、急いでも良いことは一つもありません。むしろ、焦って単独で活動を始めることで、リスクが極度に高まるのが協力隊です。あなたが焦って始めたことが、実は地域の商店の迷惑になったり、役場の方を困らせたりすることがほとんどです。ひいては「あの協力隊は地域をわかっていない。扱いづらい」という誤解や悪評判につながってしまいます。

背景には、民間企業と役場（地域）の価値基準の違いがあります。詳しくは、4月25日発売の雑誌「TURNS」(<https://turns.jp/60041>)の「地域おこし協力隊のトリセツ」を読んでいただければと思います。とにかく、1年目からの”私のアイディア”での活動づくりは、地雷を踏んでしまうので極力避けましょう。

まずは新しい土地での暮らしを安定させ、役場や地域に馴染むだけで大変な「仕事」ですので、慌てず、騒がずじっくりと！そして、1年目は「言われたことをしっかりとやること」。これを意識してみてください。なかには「はあ？」と思う指示もあるかもしれませんが、でも、「指示通りのことができる人だ」と示すことが、2年目につながる信頼貯金になります。

それでは、また次回。北海道の春を満喫してください。

■ 西塔大海（さいとうもとみ）

合作株式会社取締役 さとのば大学講師

1984年山形県生まれ。2013年、福岡県上毛町に移住し地域おこし協力隊として活動。その後、地域おこし協力隊の支援・制度設計の専門家として、全道各地の自治体で導入・活動・起業の支援に携わる。また、各地域での移住促進・空き家活用・人材育成などの地域プロジェクトマネージ

ヤーの経験を活かし、提言やアドバイザーを努めている。

○さとのば大学 <https://satonova.org/prospective/>

○西塔さん Facebook <https://www.facebook.com/saito.motomi>

【2】 イベントのお知らせ！きた北海道協力隊ネットワーク～「地域おこし協力隊向けオンラインサロンを開催します！」

北海道の地域おこし協力隊ネットワークの一つである「きた北海道協力隊ネットワーク」の事務局長さんから、イベント開催のご連絡をいただきました！

こんにちは！きた北海道協力隊ネットワークです！

きた北海道協力隊ネットワークでは今年度から新たに、道内で様々なミッションに取り組む地域おこし協力隊の方々が、気軽に意見交換ができる場を作ろうと考えました。そこで5月より隔月でオンラインサロンを開催します！協力隊を続ける中で、思い悩んだり、将来に不安を抱えたり、相談できる人が身近にいなかったりと、立場やミッションによって様々な悩みを抱えている方がいらっしゃるのではないのでしょうか？

地域おこし協力隊の働き方は多様ですが、他の地域の協力隊の現状を知ることで視野が広がったり、自分自身を見つめるきっかけにもなるかと思えます。また、協力隊同士の横のつながりがあることは精神的にも心強いはずです。

オンラインサロンといっても気構えする必要はありません。

飲み物片手に他の協力隊員とざっくばらんにお話するだけです。

ぜひお気軽にご参加ください。

○開催日時：令和4年5月27日（金曜日）19:00～>>

○参加費：無料

○参加資格：道内の地域おこし協力隊の方々

○会場：Zoom オンライン（開催中の出入りは自由）

○申込方法：Facebook「きた北海道協力隊ネットワーク」ページでご案内します。

<https://www.facebook.com/kkn.manager/>

○問い合わせ先：きた北海道協力隊ネットワーク（メール：kkn.information@gmail.com）

事務局長 谷合（たにあい） 電話：080-2747-5307

※きた北海道協力隊ネットワークとは…

「きた北海道協力隊ネットワーク」（通称KKN）は、2017年からスタートし、現役の地域おこし協力隊が運営している団体です。地域おこし協力隊の連携強化を第一目標として、行政と地域の方々を結ぶ団体として結成されました。

メンバー募集中です。一緒に北海道の協力隊活動を盛り上げていきましょう！

【3】 協力隊の活動紹介！～どこよりも、ゆるく、親しみやすい内容に仕上がっています！別海町地域おこし協力隊 YouTube チャンネル「べっかい移住ちゃんねる」

別海町では、地域おこし協力隊と役場職員とで「別海町の良さ」をPRするため、YouTubeを活用した情報発信を行っています！

今回、その取組内容をご紹介します。

別海町では、町の「移住」「観光」「魅力」について情報発信をする YouTube チャンネル「べっかい移住ちゃんねる」を開設しています！

「わかりやすい」「親しみやすい」「かたくなりすぎない」の3つをコンセプトに、これまで投稿

した動画は、令和4年度から運用を開始したお試し移住住宅に関する動画を中心に約20本。広大な面積を持つ別海町を端から端まで車で走ると何分かかるのか検証をしてみたり、オリンピック・メダリストを輩出した町を代表するウィンタースポーツ、スピードスケートを体験してみたり、新たな名物になり得る海の見えるサウナで整ってみたり、企画や撮影、出演、編集をすべて地域おこし協力隊と役場職員で行っています！

すきま時間に見られるよう、10分程度の動画づくりを心掛けていますので、ぜひ一度ご覧ください！そして、別海町を好きになってください！みなさんの来町をお待ちしています！これからも情報発信、頑張ります！

○YouTubeチャンネルべつかい移住ちゃんねる

<https://youtube.com/channel/UC3pKmlnOT6lz82JWsU7pGMQ>

大変面白い内容になっていますので、まずは一度視聴いただけたらと思います。

私は、雪かきの動画が好きです。

【4】協力隊の活動紹介②！「令和3年度『受け継ぎたい北海道の食』動画コンテスト」の表彰式が開催されました！

令和3年9月30日配信のメールマガジンでご紹介しましたが、農林水産省北海道農政事務所では、北海道の食文化の保護・継承を目的に動画コンテストを実施しており、3月7日（月）に表彰式が開催されました！多くの地域おこし協力隊の方から応募があったとお聞きし、皆さんが積極的に地域のために活動されている結果だと思いました。

なお、表彰式の様子や受賞された作品につきましては、以下のURLからご覧になることができますので、ぜひ、アクセスしてください！

入賞作品一覧（地域おこし協力隊関係分のみ、タイトル五十音順、敬称略）

【優秀賞】

- ・開拓汁：天塩町地域おこし協力隊 野口弘康
- ・鶴居村鹿肉ハンバーグ：鶴居村地域おこし協力隊 井上千尋
- ・北海道の伝統野菜八列とうきび：三笠市地域おこし協力隊 千葉ひろみ

【入選】

- ・大正時代から続く伝統漁法で海を守る～ヤナギダコ～：白糠町地域おこし協力隊 北田純子
- ・落葉きのこの卵焼き：仁木町地域おこし協力隊 嶋倉健吾

○入賞作品

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/jigyoushien/syokubunka/220311.html>

○表彰式の様子

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/jigyoushien/syokubunka/220331.html>

【5】起業を考えている方必見！日本政策金融公庫～「移住創業者向け融資制度の改正について」

日本政策金融公庫から、「新規開業資金」の融資制度について、ご連絡いただきました。任期満了後に起業を考えている方は、ぜひ、ご確認ください！

日本政策金融公庫（日本公庫）は、政策金融機関として、「新規開業資金」などの融資を通じて、地域おこし協力隊をはじめとする地方に移住して新たに事業を始める方のお手伝いをしています。

この度、ご利用いただける融資制度の改正がありましたのでお知らせいたします。

また、日本公庫では、移住創業事例や移住セミナー（アーカイブ動画）などの情報発信も行っていますので、是非、ご覧ください！

